

今村翔吾の

まつり旅



The Final in 新庄

新庄開府

400年

1625-2025

◆ 2022.9.24 (土)

開場 12:30

開会 13:30

◆ 会場 最上中央公園内
すぽーていあ
(新庄市金沢1147)

◆ 入場無料
※事前申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

◆ 主催 新庄開府400年記念事業実行委員会
共催 今村翔吾事務所
協力 羽州ぼろ鳶組ファン倶楽部

第1幕
13:30

◇まつり旅メモリアル映像放映
◇まつり旅グランドフィナーレ

第2幕
15:00

◇まつり旅報告会
◇たび丸号贈呈式
◇サイン会・グッズ販売
その他、
◇新庄まつり山車展示
◇まつり囃子演奏
◇ぼろ鳶組パネル展示
もを行います!

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。
※参加者多数の場合、入場制限を行う場合があります。
※駐車場は、新庄駅東口の無料駐車場をご利用ください。

第166回直木賞受賞 御礼行脚
「今村翔吾のまつり旅」
遂に完結！感動の最終章

羽州ぼろ鳶組・国元凱旋！



山形県 新庄市

◎事務局 新庄ふるさと歴史センター

TEL 0233-22-2188

〒996-0085 山形県新庄市堀端町4-74

撮影 / 佐賀章広

今村翔吾先生からのメッセージ

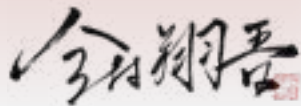
この旅の中、多くの方々が笑顔で迎えて下さいました。「このような場所まで来てくれてありがとう」「素晴らしい作品を書いてくれてありがとう」中には「生まれて来てくれてありがとう」という言葉さえいただきました。

だが、違うのです。本当にありがとうと言いたいのは私のほうなのです。小さな町で、小さな窓から、どこまでも続く空を眺めながら、誰かのために何かをしたいと、誰かにとって必要とされる何者かになりたいと、このような生き方をしたいとずっと望んでいたのです。

もし誰かに「貴方の人生で最も輝いた時は？」と問われたならば、それは今だとすぐに答えるでしょう。その旅の最後を、皆様と共に迎えられる幸せに感謝します。

あともう少し。

待っていて下さい。



プロフィール



1984年京都府生まれ。滋賀県在住。ダンスインストラクター、作曲家、守山市埋蔵文化財調査員を経て作家デビュー。「童神」で第10回角川春樹小説賞を受賞（「童神」は『童の神』と改題/角川春樹事務所）し、第160回直木賞候補（2018年下半年期）にもなった。2020年に山形県新庄市の観光大使を受任したほか、「八本目の槍」（新潮社）で第41回吉川英治文学新人賞、第8回野村胡堂文学賞受賞。その後、「じんかん」（講談社）で第163回直木賞候補、および第11回山田風太郎賞を受賞。2021年に「羽州ぼろ鳶組シリーズ」（祥伝社）で第6回吉川英治文庫賞受賞。同11月には大阪府箕面市にある書店を事業承継し「きのしたブックセンター」の書店経営も務める。2022年「塞王の楯」（集英社）で第166回直木三十五賞受賞。執筆の傍ら、講演・テレビなどに出演しているほか、TBS報道番組（JNN系列）「Nスタ」レギュラーコメンテーター出演中。

今村翔吾のまつり旅 - 足跡 -

まつり旅とは

2022年に第166回直木賞を受賞した歴史小説・時代小説家「今村翔吾」が全国47都道府県を楽しく巡る「まつり旅」。

直木賞の受賞が決まってすぐ記者会見で「時勢を見て、今年中に47都道府県の書店にお礼に回りたい」と宣言した今村先生。その約束通り、5月30日から始まりました。

その間、一度も自宅に帰らず、ワゴン車に執筆機を設置し、移動中も執筆を行いながら巡ったこの旅が、9月24日に山形県新庄市にて感動のゴールを迎えます。



今村翔吾のまつり旅

← Youtubeはこちら

<https://www.youtube.com/channel/UC8-Ovu2d7DyxGEvawOqYa-w>

ホームページはこちら→



当日は上記 Youtube チャンネルでリアルタイム配信予定！



申込方法・注意事項

1. 以下の二次元コードより、必要事項を入力の上、お申込ください。
2. 当日の受付にて、申込完了メールを表示し、係員にお見せください。
3. 9月5日(月) 12時より申込受付を開始します。
4. 定員は300名となります。

申込フォームはコチラ→



※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。
※参加者が多数の場合、入場を制限することがあります。あらかじめご了承ください。
※マスク着用、手指消毒など、感染症対策にご協力ください。

新庄駅周辺のアクセス

